

No	確認項目	確認内容・条件	基準
1	設置条件	・電源:100 V及び200 V設定時の電圧の実測値を確認する。	・定格電圧±5 %以内。
		・容量確認(取扱説明書参照)	・表記値より大きいこと。
		・アース接地(100 Ω以下)。	・接地されていること。
		・場所:取扱説明書記載のスペースの確認。	・確保されていること。
		・机強度確認。	・揺み、振動のないこと。
		・換気の確認	・十分な排気が行えること。
		・温度:設置環境確認。	・仕様内であること。
		ガス:N ₂ 純度及び供給圧力を確認する。	・純度:97%以上(N ₂ 発生装置) ・供給圧力:690～800 kPa以内。
2	動作点検・基本動作	ガス:Ar純度及び供給圧力を確認する。	・純度:99.99%以上 ・供給圧力:690～800 kPa以内。
		ドライエアー:純度及び供給圧力を確認する。	・純度:Water-free, Oil-free ・供給圧力:690～800 kPa以内。
		排気:RP出口排気、スプレー排気が屋外または排気設備に接続されているか確認する。	正常であること。
		LCユニットの保守点検作業が完了していること(別紙1)。	正常であること。
		LabSolutionsの起動プログラムにてRP/TMPが正常に立ち上がることを確認する。	正常であること。
		LabSolutionsとLCの通信が正常であることを確認する。	各パラメータの設定、ダウンロードが可能なこと。
		DL、ヒートブロック、インターフェイス、ESIヒータ各部が温調されていることを確認する。	エラー無く、準備完了になること。
3	機能点検・ESIモードの確認	オートチューニング実行し、ポジ・ネガの検出器電圧を確認する。	2.7 kV以下に収まること(絶対値)。
		オートチューニング実行し、半値幅のバラツキを確認する。	
		【Q1及びQ3スキンの結果】 ポジティブ 256.15, 300.20, 652.40, 1224.75 ネガティブ* 503.15, 1007.30 (*ネガティブは編集されたm/zを用いても良い)	0.51～0.80 以内であること。
		【プロダクトイオンスキンの結果】 ポジティブ 168.10>45.05, 168.10>89.05, 388.25>133.10, 388.25>177.10, ネガティブ* 503.15>89.00, 503.15>179.05, (*ネガティブは編集されたm/zを用いても良い)	0.51～0.80 以内であること。
		オートチューニングを実行し、スキニングデータに表示されている、各ズレ幅を確認する。	
		【Q1及びQ3スキンの結果】 ポジティブ 168.10, 256.15, 344.20, 652.40, 1004.60, 1224.75 ネガティブ 503.15, 1007.30	±0.15 amu 以内であること。
		【プロダクトイオンスキンの結果】 ポジティブ 388.25>45.05, 388.25>89.05, 388.25>133.10, 388.25>177.10, ネガティブ* 503.15>89.00, 503.15>179.05, (*ネガティブは編集されたm/zを用いても良い)	±0.15 amu 以内であること。
		オートチューニングを実行し、【Q1スキン】及び【Q3スキン】のプロファイルピーク m/z:1224.75 の強度を確認する。	2.0E+5 (cps) 以上であること。
4	整備交換部品の取替	・別紙3(表2)の部品を交換する。	適正に取り付けられていること。